

秋季公演

10月26日（日）13..30（）

■蟹 殿（かにどん）

■大黒狩（だいこくがり）

■紅葉狩（もみじがり）

清凉寺（嵯峨釈迦堂）境内狂言堂

雨天決行・荒天中止
全席自由・観覧無料

主催：嵯峨大念佛狂言保存会
協力：京都嵐山ライオンズクラブ

〒616-8447 京都市右京区嵯峨釈迦堂藤ノ木町46
<https://www.sagakyogen.info>
tel.080-1414-4864



国指定重要無形民俗文化財
嵯峨大念佛狂言
保存会結成
50th
1975・2025

嵯峨大念佛狂言保存会結成50周年！



重要無形民俗文化財

嵯峨大念佛狂言

二〇二五年秋季公演のご案内

国指定重要無形民俗文化財 嵯峨大念佛狂言 秋季公演

2025/10/26[日]13:30

■嵯峨大念佛狂言について

京都市の西、嵯峨釈迦堂の名で親しまれている古刹清凉寺の境内で執り行われる「嵯峨大念佛狂言」は国の重要無形民俗文化財にも指定されている民俗芸能です。すべての役者が面をつけ、台詞がなく、身振り手振りだけで芝居が進行する点に大きな特徴があります。現在は、二十番の演目が残されています。

その歴史は古く、言い伝えでは鎌倉時代に融通念佛をひろめた円覚上人導御の創始とされています。嵯峨大念佛狂言には室町時代(享禄2年[1529])の銘を持つ面が伝わっており、すでに500年近い歴史を有していると考えられます。この他にも、桃山時代の優秀な面打師であった喜兵衛の刻銘を持つ女面《深井》や、和宮降嫁の際に宮中の女官としてその説得にあたった高野房子そして幕末の勤王家津崎村岡局の菩提を弔うために奉納された装束など、美術史的にも宗教史的にも価値の高い数々の資料が伝わっています。

■蟹殿

山へやってきた蟹の親子。美味しい柿を食べたいのですが、手(ハサミ?)が届きません。そこへやってきたのが猿。柿を採ってやろうと言いますが、熟したものは自分で食べてしまい、まだ青く固い柿を親蟹に投げつけます。あわれ親蟹はそのまま息絶えますが、子蟹は仇をとろうと一念発起。鉄、栗、臼をしたがえて親猿と戦います。はたしてその首尾やいかに...

登場者:親蟹、子蟹(前シテ、後シテ)、親猿、子猿、鉄、栗、臼

■大黒狩

その昔、僧侶は妻帯を許されていませんでした。ところがこの坊主、奥さんどころかこどもまでつくってしまいました。自分の寺へ妻子とともに帰ってきた坊主。有頂天になってこどもをあやします。そこへやってきたのが旦那と供。寺のご本尊を拝もうと坊主と交渉します。「大黒」というのは僧侶の隠し妻のこと。さて、坊主と妻子の行く末は...

登場者:坊主、大黒、旦那、供

■紅葉狩

紅葉を愛でに美女(実は鬼女)と侍女が山へやってきます。するとそこへ猿を射ちに平維茂と供があらわれます。美女は維茂を酒盛りに誘い、毒酒を飲ませて維茂を眠らせてしまいます。武器を奪った美女が去ると、地藏尊があらわれ眠っている維茂に刀を受け、霊力を与えます。維茂は本性をあらわした鬼女と丁々発止の戦いを繰り広げます。その結果はいかに...

登場者:美女(前シテ)、侍女、平維茂、供、地藏尊、鬼女(後シテ)



一念発起し仇討ちに向かう子蟹(蟹殿)



大黒と幼子を連れた坊主(大黒狩)



維茂と鬼女の戦い(紅葉狩)

Bhagavan
coffee



庭師がオーナーの清凉寺境内にあるカフェです。Bhagavanとはサンスクリット語で「釈迦」のことで、メニューの多くには嵯峨大念佛狂言の演目名が使われています。さらにオリジナルのガチャチャや扇子、トートバッグなどのグッズも取り揃えられています。公演前や合間の一服にぜひ足をお運びください。

清凉寺へのアクセス(狂言堂は境内の西北にあります)

■京都市営バス	28系統・91系統	嵯峨釈迦堂前下車	西へ徒歩2分
■京都バス	61・62・71・72・81系統	嵯峨釈迦堂前下車	西へ徒歩2分
■JR	嵯峨野線(山陰線)	嵯峨嵐山駅下車	北西へ徒歩15分
■嵐電	嵐山本線	嵐山駅下車	北へ徒歩15分



観覧無料/雨天決行
お席に限りがございますので、
お早めにお越しください。

嵯峨大念佛狂言保存会
お問合せ: 080-1414-4864
✉ vtmi19509@leto.eonet.ne.jp
ウェブサイト: www.sagakyogen.info